



ENEOS

2023年3月31日

各 位

ENEOS株式会社

**森林由来Jークレジット共創プロジェクトの登録完了について
新潟県の未来の森づくり～新潟県農林公社とENEOSの共創プロジェクト～**

当社（社長：齊藤 猛）は、3月15日に、公益社団法人 新潟県農林公社（以下「新潟県農林公社」）と共同で取り組む「新潟県の未来の森づくり～新潟県農林公社とENEOSの共創プロジェクト～」（以下「本プロジェクト」）において、Jークレジット制度^{※1}へのプロジェクト登録が完了しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、昨年11月に締結した「森林を活用した脱炭素社会の実現に向けた連携協定」^{※2}のもとで取り組んでいる、森林由来のJークレジット共創プロジェクトです。今般、Jークレジット制度認証委員会において、新潟県農林公社が管理する新潟県下越地方の森林を対象地とした森林経営活動のプロジェクト計画書が承認されました。

当社は、本プロジェクトの実行により、新潟県農林公社が推進する、適切な森林管理を通じた国内の森林資源の保全および森林の持つ多面的な機能の維持・増進に積極的に取り組み、脱炭素・循環型社会の形成に貢献してまいります。

<プロジェクト登録内容>

実施場所	新潟県下越地方 (村上市、新発田市、阿賀野市、阿賀町、五泉市、胎内市、関川村)
対象森林面積 ^{※3}	約1,600ha
認証対象期間	16年間
CO2吸収量	約200,000トン (年平均約12,000トン)

※1 Jークレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。適切な森林管理によるクレジットを、森林由来のJークレジットと称する。

※2 2022年11月25日公表

[「森林を活用した脱炭素社会の実現」に向けた連携協定の締結について](#)

※3 実施場所の森林約4,300haのうち、クレジット創出対象となる森林面積。

以 上